

# 「笑顔輝く ゆめタウン なめがた」を目指して

まちづくりの柱  
行財政改革  
教育文化の充実  
生活環境の整備

保健・医療・福祉の充実  
産業の振興  
連携・交流の促進



平成22年度行方市当初予算が行方市議会平成22年第1回定例会で原案どおり可決されました。

行方市の会計は一般会計、特別会計、公営企業会計に分けられ、おのおのの予算額を前年度のそれと比べてみると、一般会計は4億8,800万円(3.4%)、特別会計は1億2,800万円(1.4%)の増額、公営企業会計は5億5,200万円(34.0%)の減額となりました。

平成20年度決算における行方市の主要財政指標をみると、経常収支比率が92.6%(前年度94.8%)、実質公債費比率は16.3%(同17.6%)とやや改善傾向にはあるものの、依然として非常に厳しい数値となっています。一方、一般会計基金については、学校再編等の将来負担を見据え、その残高は20年度決算において約27億4百万円(前年度18億2,674万円)から21年度決算見込額では約36億6,400万円として

今後の歳入見込については、現下の経済情勢を反映し、法人市民税、個人市民税の減少が見込まれ、地方交付税や臨時財政対策債に依存する割合が高い状況に変わりはないと思われます。

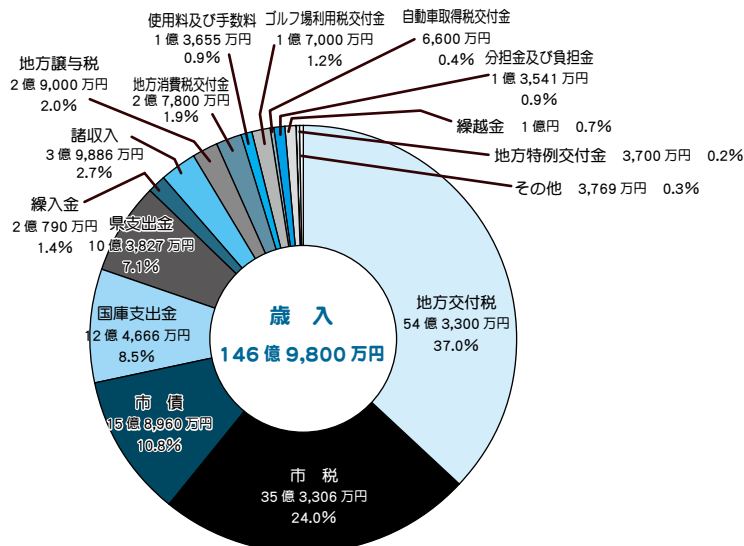
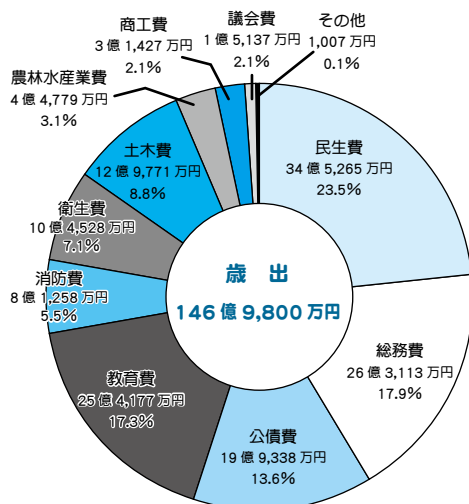
国や県からの補助金等についても相対的に減少傾向にあることから、なお一層の財源確保を図っていかねばなりません。一方、少子高齢化対策等の扶助費、広域事業への負担金や固定経費の増加により、政策的・投資的経費へ充当できる一般財源が、限られたものにならざるを得ない状況にあります。

平成22年度の予算編成にあたっては、行政改革大綱及び集中改革プランの双方を基軸に、市総合計画に基づく実施計画や新たに重点事業として位置付けた「活力プラン」の事業に優先的に予算配分をし、「事業のスクラップ&ビルド」、「事業の選択と集中」の考え方のもと、「箱物重視」ではなく「市民生活重視」の予算編成を目指しました。

## 会計別予算額の内訳

| 区 分             | 予 算 額          | 前 年 度 比 |
|-----------------|----------------|---------|
| 一 般 会 計         | 146 億 9,800 万円 | 3.4%    |
| 国民健康保険特別会計      | 49 億 5,840 万円  | -1.1%   |
| 老人保健特別会計        | 1,500 万円       | 12.8%   |
| 介護保険特別会計        | 27 億 9,700 万円  | 12.2%   |
| 後期高齢者医療特別会計     | 3 億 1,920 万円   | 0.0%    |
| 農業集落排水事業特別会計    | 3 億 3,990 万円   | -52.3%  |
| 特環公共下水道事業特別会計   | 5 億 7,170 万円   | 80.6%   |
| 流域関連公共下水道事業特別会計 | 3 億 7,820 万円   | -2.0%   |
| 水道事業会計          | 10 億 6,950 万円  | -34.0%  |
| 予算合計            | 251 億 4,690 万円 |         |

# 一般会計予算額 146億9,800万円



## 主要な施策の概要を総合計画の体系に沿って・・・

### やさしさあふれる

#### 健康福祉のまちづくり

休日・夜間診療等の救急医療体制については、なめがた地域総合病院、銚田病院、小美玉市医療センターの輪番制によって支えられていますが、これらを維持するために関係市とともに補助を行います。

老朽化した保育施設（北浦保育園、竜翔寺保育園）については、児童を安全かつ健康的に保育し、様々な保育ニーズに対応できる多目的保育施設への改築及び大規模修繕等に補助し、子育てに係わる環境の改善を図ります。

育児と仕事・介護の両立支援としての放課後児童クラブ・降園後保育については、地域の格差解消のために、一カ所（大和二小）新設し、市内15カ所に拡充します。また、未実施小学校（6校）の児童については、近隣の実施場所へタクシーによる安全な移動を行い、全小学校で利用可能な体制を整備します。

### 豊かな暮らしと

#### 地域文化を育むまちづくり

学校等適正配置実施計画に基づいて統合校の運営検討を行いながら、麻生地区統合中学校については本年度からの2カ年度で校舎の建設、玉造中学校については、講堂改築工事を21年度からの継続で引き続き実施していきます。

また、麻生西浦側小学校（現麻生小）については外構工事、麻生北浦側小学校（現麻生二小）では体育館改築工事設計委託等、玉造地区統合小学校については、

基本構想・基本計画策定業務を委託していきます。

外国語の指導助手招致事業では、21年度から新たに小学5～6年生を対象に、2人の講師が各小学校を巡回しながら英語教育を進めています。本年度につきましても引き続き実施していきます。

図書館運営費につきましては、本年度が国際読書年であること等を踏まえ、小学校等と相互協力して活字離れ等を抑制するため、小学校等への貸出専用（循環方式）児童図書を拡充していきます。

### 地域資源が輝く

#### 活力に富んだまちづくり

行方市の農産物のブランド化及び消費者との交流等に取り組み、市の知名度の向上により、基幹産業である農業の発展及び地域の活性化を図り、農業所得の向上に繋がるよう施策を推進していきます。

天王崎については、国の砂浜再生事業と一体的に地域交流センター等を整備していきますが、本年度は同センターの設計、案内板作成等を実施していきます。

雇用対策につきましては、国の補助金を活用して、公道・公共施設の除草、公園・湖岸河川の美化等（延100人）の短期雇用を中心に非正規労働者・中高年齢者等の一時的雇用・就業機会の創出を図っていきます。

### 人と自然が共生する

#### ゆとりと潤いに満ちたまちづくり

消防防災体制の強化のため、消防機庫、詰所の整備、防火水槽の整備等を行います。

美化センターの維持補修は、年次的に点検整備、維持補修が必要となっており、28年度の大規模改修時期を前に、必要な修繕等を行っていきます。それとともに、市民の皆様にごみの分別収集について、一層の理解と協力を願えるよう、啓発の事業等を行います。

住環境の整備については、建設耐震化事業の中で、耐震改修促進計画のもと、建築物の耐震を促進し、一般木造住宅の耐震診断士派遣事業を展開していきます。

### 快適に暮らせる

#### 住み良いまちづくり

道路交通体系の整備については、国の特定防衛施設周辺整備事業や、再編交付金事業、防衛施設周辺道路整備事業の補助金制度を活用し、計画的にかつ積極的に関連する生活道路等の整備を実施していきます。

地域情報通信基盤については、民間による投資が期待できない状況下にあることから、情報格差を是正するため、国の交付金を活用して21年度から引き続き整備を推進していきます。

生活基盤である公共交通については、21年度においては循環バス2台とデマンド型コミュニティバス（乗合型）を併用していたところですが、22年度以降については、循環バスを廃止し、デマンド型への一元化（増台）により一層の利便性を確保していきます。



## なめがた活力プランに基づく事業（主要施策抜粋）

### ○合併特例債事業 14 億 7,804 万円

天王崎周辺整備支援事業 5,737 万円

国の砂浜再生事業と一体化した天王崎周辺整備（地域交流センター設計委託料 ほか）

合併振興基金 5 億円

有利な合併特例債を活用して、将来負担に備えます。

道路改良舗装事業 6,750 万円

浜・榎本線整備、橋門・四鹿・蔵川・白浜線、玉3号線工事請負費等

麻生小学校施設整備事業 520 万円

外構工事

麻生北浦側小学校施設整備事業 1,788 万円

体育館改築工事実施設計委託料等

玉造中学校施設整備事業 3 億 7,486 万円

講堂（21年度からの継続事業）及びテニスコート整備工事等

麻生地区統合中学校施設整備事業 4 億 5,524 万円

校舎新築工事（23年度までの継続事業）等



### ○合併特例交付金事業 9,412 万円

公共サイン整備事業 795 万円

市内各所の国道道等に歓迎サインの設置等

文化財保護費（案内板作成） 400 万円

文化財（指定・無指定）案内サインの整備

パソコン整備事業（小学校） 4,852 万円

小学校の情報教育のための環境整備

パソコン整備事業（中学校） 1,819 万円

中学校の情報教育のための環境整備

### ○防衛補助及び再編交付金事業 2 億 7,357 万円

特定防衛施設周辺整備事業（道路） 3,756 万円

玉60号線舗装工事ほか

特定防衛施設周辺整備事業（学校施設） 3,828 万円

玉造中学校テニスコート整備等

道路整備事業（再編交付金） 9,000 万円

玉2116号線ほか工事請負費等

特定防衛施設周辺整備事業（防災施設） 858 万円

消防詰所整備等

道路整備事業（防衛補助） 9,239 万円

玉2153号線ほか工事請負費等

地区集会施設整備事業 675 万円

地区集会施設の整備（希望地区 1施設225万円上限補助）

### ○起債事業 2 億 9,130 万円

道路改良舗装事業 2 億 8,130 万円

各地区生活道路の計画的整備

消防施設管理整備事業 1,000 万円

天王崎消防機庫詰所整備・防火水槽撤去（小高・羽生地区）

### ○その他事業 2 億 2,330 万円

新交通公共システム事業 2,810 万円

交通弱者のために乗合タクシー整備（4台配置）

建築耐震化事業 48 万円

一般木造住宅への耐震診断士派遣

産業立地推進事業 364 万円

企業誘致の推進及び工業団地内市有地の管理

地域コミュニティ事業 1,100 万円

再編交付金を活用して、地域コミュニティ事業へ助成

保育所児童運営事業 1 億 3,437 万円

老朽化した児童施設の改修等に対する補助

ブックスタート事業 114 万円

本を読む習慣を0歳児から育む



# 市民一人あたりの予算



教育費  
65,493円



総務費  
67,795円



民生費  
88,963円



農林水産費  
11,538円



消防費  
20,937円



衛生費  
26,933円



公債費  
51,363円



その他  
2,578円



議会費  
3,900円



商工費  
8,098円



土木費  
33,438円



市民一人あたりの予算額はどれくらいになるでしょうか。

目的別歳出をもとに、平成22年度一般会計予算146億9,800万円を、平成22年3月1日現在の人口38,810人で割ると、1人あたり37万8,717円になります。

図からもわかりますよう

に、高齢者、障がい者、児童等への福祉に使われる民生費が一番多く、次に多いのが、選挙や戸籍、徴税、庁舎の維持管理などの事務的な経費に使われる総務費。以後、学校関連などに使われる教育費。借金の返済に充てる公債費。道路などの管理・整備に使われる土木費と続いています。